

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称		〔43〕 東京都台東区立千束社会教育館				
指定管理者の名称		株式会社山武		指定期間	H21. 4. 1 ~ H24. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
(2) 類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育館他 3 5 施設					
(3) 経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益〔単位：百万円〕		
	2 1 年	60,041	48,546	11,494		
	2 2 年	61,831	49,160	12,670		
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区浅草 4-24-13 (千束小学校 3F)					
(2) 設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3) 利用者	社会教育団体として登録されている団体、センターが行う事業に参加する区民					
(4) 開館日・時間	火曜～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：祝日、年末年始(12/28～1/4)					
(5) 規模	ホール 50 人 会議室 45 人 和室 25 人					
(6) 人員体制	週 40 時間勤務 5 人					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	1、生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 2、施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 3、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2) 自主事業	6 講座実施 21 回 延参加人数：252 人					
4. 予算決算の推移						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	13,672,000	13,302,000	13,749,000	14,065,000	14,117,000
	料金収入等	1,700,000	2,000,000	1,500,000	1,320,000	1,340,000
	管理経費	15,372,000	15,302,000	15,249,000	15,385,000	15,457,000
決算	委託料	13,672,000	13,302,000	13,650,000	14,065,000	14,117,000
	料金収入等	1,298,040	1,381,300	1,435,870	1,594,760	1,659,650
	管理経費	15,000,587	14,966,152	15,085,870	15,659,760	15,776,650
	収支	-30,547	-282,852	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
年間開館日数		日	341	341	340	342
ラーニングスクエア講座数		講座	12	13	13	12
自主事業講座数		講座	2	3	4	6
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度
利用率		%	55.0	43.1	50.7	54.1
利用件数		件	1,600	1,263	1,485	1,594

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

- ・各スタッフのスキルアップのための接遇教育研修の充実を図った。
- ・台東区の地域文化活用として「盆踊り」や地域産業の「袋物」などを行い、新たな地域資源として「台東区むかしむかし」を教材にした講座を行った。
- ・学びの還元につながる学習プランや、人材活用を行い、多様なニーズに対応できるジャンルの拡大と受講者の世代拡大に努めた。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.2]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[3]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[3]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.2]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[3]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価

S（水準以上） : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正） : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり） : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり） : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿） : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	S	自主事業は従来の単発ものから複数回実施する講座に重点をおき、講座数を2回、延回数17回増やしたことで参加人数が5倍強に増加した。同時に、継続利用者の確保も図られている。
(2) 施設の維持管理	A	防火対策のことはもとより保守・設備点検・施設全体の管理運営が円滑に行われている。社教館が3階にあり通路が外階段になっているため、雨天時は3階までモップがけをして足元の安全確保に努めている。
(3) 利用者の満足度	S	高齢の利用者が多いことから、階段の途中に休憩用の椅子を設置したり、熱中症対策として、定期的に温度と湿度を測定して利用者に注意を促す一方で、保冷剤を用意して便宜を図っている。
(4) 歳入歳出	A	歳出については、適正に行われている。自主事業の講座数増や利用者に満足してもらうための工夫、熱中症対策や階段途中の椅子の設置などを実施した。また、雨天時の足元の安全確保に努めるなどした結果利用者が10%伸びた。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好	利用率の低い和室については20年度利用率の2倍に、会議室についても10%増加して努力のあとが見られる。
-----------	---

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

自主事業の講座数を増やしたことにより参加者が増加し、館としても利用率が向上している。また、利用者からの満足度も高いので、今後も自主事業参加者の定着に向け更なる努力を検討していく。今後とも継続して高い評価が得られるよう、社会教育センターや他の教育館と連携しながら、施設全体のサービス向上が実現するよう指定管理者と協議していく。